

20115

循環器血管造影における ACIST 装置運用の検討

【はじめに】循環器系の造影検査では Dvx 社製 ACIST インジェクターを使用している。この装置使用による造影剤の運用について検討したので報告する。【対象】40 日間で施行された循環器系造影検査 118 件、治療 40 件。【方法】ACIST のセットアップ時や、造影剤交換時に残る造影剤を回収し再利用しつつ、1 日で医事請求した造影剤本数、使用造影剤量、廃棄造影剤量を 40 日分集計し検討した。【結果】再利用のため回収した造影剤量が 1100ml、総請求本数が 198 本、使用造影剤量 12414ml、廃棄造影剤量 1795ml であった。【考察】回収された造影剤瓶に残る薬剤は、最終検査時の造影剤残量の微調整や、静脈造影などの簡易な造影にて使用することができた。ACIST 使用により造影剤による消耗品購入額の負担は当院の件数ではできなかったが、細かな配慮により造影剤の節約ができた。【結語】ACIST を使用することにより、装置の特性である術者への負担や、使用される造影剤量は削減されている。当科の運営により造影剤瓶に残る薬剤を回収し有効に利用することができた。